

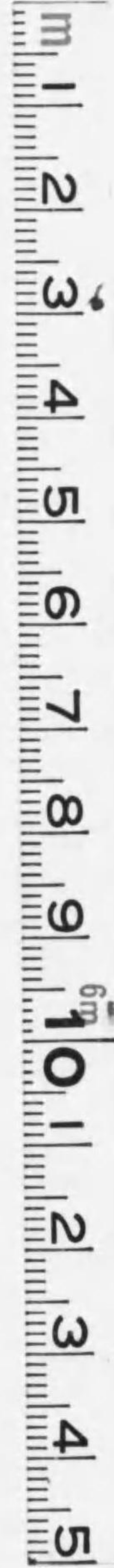
東部北海道の景勝

特251

989



北海道景勝地協會



始



特251
989

正誤表

誤		正	
1 頁上段 9 行目	弟子屈村	弟子屈村	
1 頁下段 5 行目	没地形	没地形	
4 頁下段 5 行目	ある	あり	
5 頁上段 13 行目	ビルカネツブ	ピリカネツブ	

東部北海道の景勝地

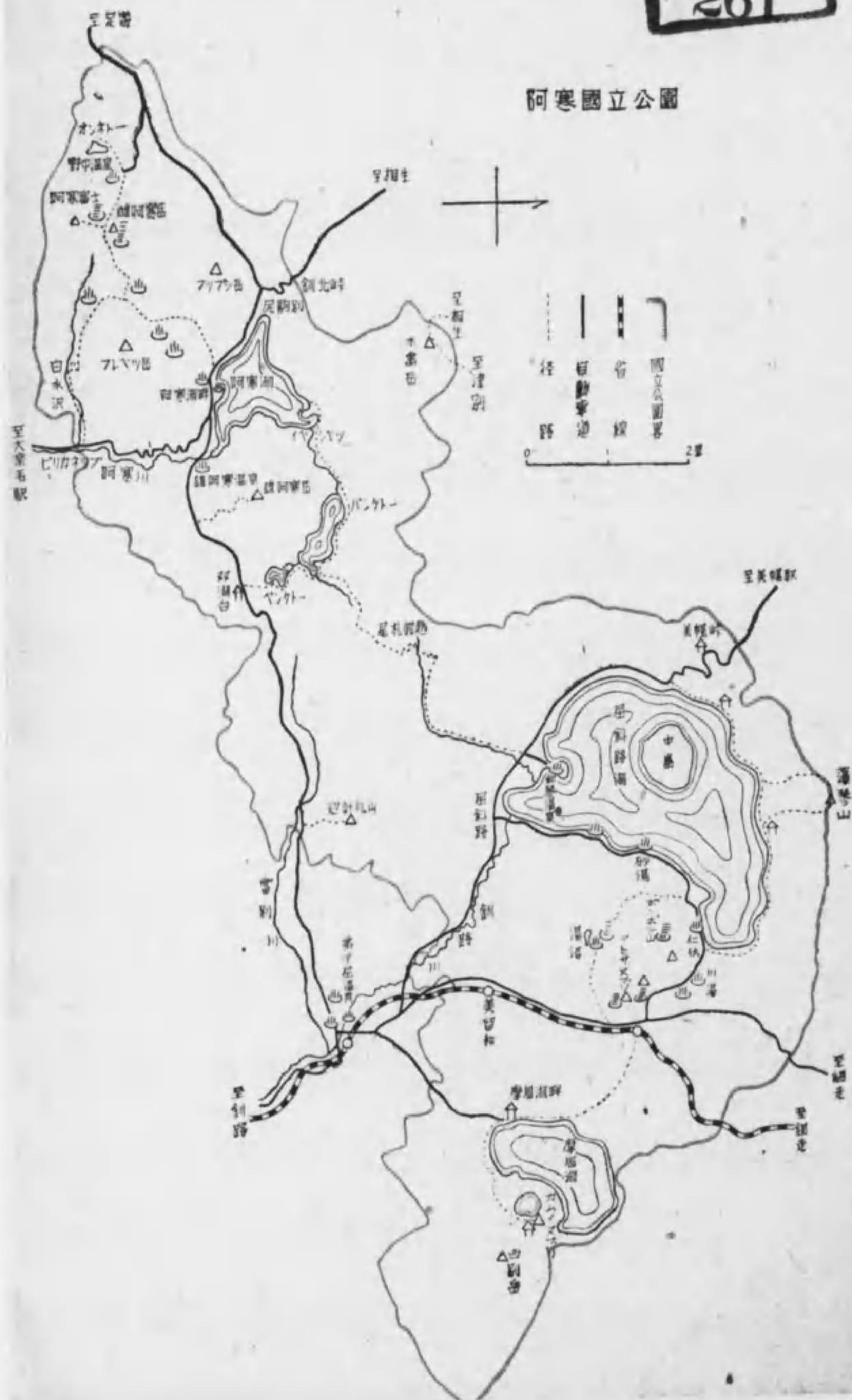
一、阿寒国立公園

一 概 要

阿寒国立公園は釧路市を距る北方約八〇軒
釧路、北見の二國に跨り、其の區域は釧路國側
は川上郡弟子屈村、標茶村、阿寒郡阿寒村、白
糠郡白糠村、足寄郡足寄村、北見國側は網走郡
美幌町、津別村の一町六ヶ村に及ぶ、全面積は
八七、四九八陌にして其の内御料林二七、二六三
陌、國有林三四、五三〇陌、國有未開地三、一
八六陌、町村有地一七〇陌、私有地一二、四七
四陌にて、區域内湖水面八、七五陌なり、是等
風景の傑出せる地域は国立公園候補地として既

に大正十二年一部正式に調査せられたる處であ
つて、去る昭和九年十二月国立公園に指定せら
れた。最近の利用者年約十餘万人と稱せらる。
公園區域は千嶋火山帯に屬する火山彙の大陷
没地形にして、阿寒、屈斜路、摩周の三陷没地
形に分れ、壯麗なる雄阿寒岳、雌阿寒岳、阿寒
富士、アトサヌブリ、カムイヌブリ等の火山を
抽出し雄偉なる地貌を呈し、殊に雌阿寒岳、ア
トサヌブリ等は旺んに噴煙を揚げてゐる。是等
山岳の間には阿寒湖、屈斜路湖、摩周湖等夫々
特徴ある第一流の湖沼あり、特に摩周湖は凄愴
なる神秘的景觀を誇り、尙其の他幽邃無比なる
パンケトー、ベンケトー等の大小の湖沼散在
し、一帯は寒帯林の代表的美林に蔽はれ、處々
に華麗な石楠、磯躑躅の大群落及白樺林を混へ
て本邦稀に見る景觀を呈し阿寒湖の毳藻と共に





學術上の興味著しきものがある。

廣大なる火山原地形の一部は夙に人文發達を可能ならしめ、舊土人の生活は勿論、硫黄の採集、造林事業、温泉の開發等相次で興り、古くは明治三十二年來移民の入り地を見られる處である。探勝の根據地としては、弟子屈、川湯、阿寒を始め仁伏、和琴、雄阿寒、野中等到る處豊富な温泉に恵まれ、登山、温泉浴、湖上の舟遊、釣魚等各種の利用上優れたる素質を有し、其の位置本島の東部に偏在するにも拘はらず、鐵道網線其の東部を貫通する外、公園内外に亘り交通機關良く發達し、觀光、自然研究等廣く國民の保健、休養、教化に資する處が多い。

二 探 勝

阿寒国立公園は區域の内外に鐵道を通じ、各驛よりは主要地點に自動車の便があり、主な

る名勝地を比較的短時間に廻遊する事が出来、札幌、小樽方面より週末の旅行者も尠くない。国立公園を一周するには入口も多く、様々のコースを考へ得るが、大體次の如き徑路によるのが便利である。

- 釧路 (汽車) — 弟子屈 (自動車) — 摩周湖 (自動車) — 川湯温泉 (自動車)
- 屈斜路湖 (舟遊・自動車) — 美幌峠 (自動車) — 和琴 — 弟子屈 (自動車)
- 横斷道路 — 阿寒湖畔 — 相生 — 足寄
- 美幌町 (自動車) — 美幌峠 (自動車) — 屈斜路湖 (自動車) — 川湯温泉 (自動車)
- 摩周湖 (自動車) — 弟子屈 (自動車) — 横斷道路 — 阿寒湖畔 — 相生 — 足寄

阿寒湖 釧路國境に近く阿寒地方の核心をなす火口原湖で略菱形をなし、直徑四軒、周圍二

十六軒、湖岸線は出入極めて多く、變化に富み東岸雄阿寒岳麓は急傾斜の原始林がせまり、西方方には活火山雌阿寒岳とフツブシ岳とが千古の碧緑に麗姿を寫して居る。又北方には木禽岳とサマツケヌブリがそばだち湖上にはオンネモシリ、ボンモシリ、チュールイモシリ、ヤイクイモシリの四島が浮ぶ。湖の南隅には温泉を繞つて湖畔部落があつて阿寒湖の釣魚、舟遊の足溜地となつて居る。夙に阿寒湖の名を世界的ならしめた特産のマリモは天然記念物として保存せられ、又湖水には阿寒湖原産姫鱒が生棲し、支笏湖、十和田湖方面に移植せられたものである。

阿寒湖畔温泉阿寒湖の南岸の要地を占め、雌阿寒岳を控へ、前面湖水を隔て、雄阿寒岳、木禽岳に對する。温泉は鹽類泉で旅館五軒、賣

店休憩所が軒を並べ登山野營、釣魚、舟遊、温泉浴、スキー等四時附近探勝の根據地となり、弟子屈、舌辛、相生、足寄より自動車の便がある。東方ボツケ岬附近には熱泉、泥火山がある。舊土人の家屋もある。

雄阿寒温泉 阿寒湖畔温泉の東南二十町、雌阿寒岳南麓の阿寒川に沿ふ。旅館一軒

野中温泉 雌阿寒西麓の硫黄泉、雌阿寒登山の裏口に當り環境頗る幽邃、南方に濕原植物の多い錦沼がある。旅館一軒。尙この附近には原始林に包まれて白水、澁川、白土等未開發の温泉が數多ある。

オンネトイ 大きい沼の義、野中温泉より南方一軒餘阿寒富士の西麓、湖底は淺く水生植物は多いが魚介は棲息しない。水鏡に寫る雌阿寒岳、阿寒富士の立竝んだ姿は美しくしい。

雌阿寒岳 阿寒湖の西南隅に聳ゆる典型的な

複式活火山で、主峰、阿寒富士等四峯に分れて居る。山嶺近く、青沼、赤沼があり、四周に爆烈火口跡がある。主峯の東北方大噴火口は常に硫氣を噴出し、其の上昇約十數米に及ぶ。山麓一帯は針葉樹の原始林、六合目以上は灌木帯より偃松帯に推移し、珍奇なる高山植物に富んでゐて山頂附近は岩骨突兀たる熔岩の露出を見るなど著しい火山現象を呈してゐる。山頂の眺望は頗る雄大で東方阿寒湖を俯瞰し、雄阿寒、摩周、藻琴の諸岳に對し西方遙に大雪山國立公園の諸山岳を望見する事が出来る。

雌阿寒岳登山道には湖畔、ピルカネツブ、野中温泉よりの三つがあり、それぞれ特徴をもつてゐる。

阿寒湖畔—登山口—巡視小屋—雌阿寒山頂

ピルカネツブ—白水温泉口—巡視小屋—雌阿寒山頂

野中温泉—雌阿寒山頂

湖畔部落より頂上まで一二軒餘、登坂は緩かで老人子供も容易に登山し得る。登山口に無料休憩所があり、之より森林帯はづれに國有林巡視小屋がある。更に上方一軒に石室もある。

野中温泉は網走本線足寄及帶廣方面よりの登り口をなす。温泉より頂上まで三軒、距離は極めて短いが可成急峻、登り二時間半、下り一時間要する。

雄阿寒岳 阿寒陥没地形の中央火丘として純粹に近き圓錐形をなし、阿寒湖の東岸に聳立する。金山ほとんど原生の針葉樹に覆はれ、八合目附近にエゾダケカンバの純林があり、山頂近くには高山植物が見られる。登山道は取つきは

困難であるが、横断道路登山口より六軒、登り約三時間、下り一時間半。

木禽岳 阿寒湖の北環壁上に位し、阿幌岳と共に山容頗る優美である。北見相生或は津別方面よりは一時間半程で容易に達し得る。山頂附近の草原は美しく眺望はよい。

パンケトー 上の湖の義、雄阿寒岳の東麓長徑二軒、短徑半軒、湖面約四五ヘクタール、パンケトーの上方に當る。周圍に幽邃なる針葉樹林がせまつて居る。

パンケトー 下の湖の義、長徑四軒、短徑一軒、湖面約三〇二ヘクタール、深度四八軒、南岸は絶壁をなし湖岸に群生する石南花は花時美事である。最近養魚も行はれ、釣魚、舟遊に適する。

双湖台よりパンケトー、パンケトーの兩湖畔を經、イペンベツ川に沿ふて阿寒湖チユールイ附近に出づる探勝コースがあり、原始氣分が濃い。

X

屈斜路湖屈斜路陥没地形の一大火口原湖にして最大徑二軒、周圍五六軒五、最深一〇七米、廣大平明舟遊釣魚によく、湖心に唯一の島嶼中島を浮べ、和琴半嶋突出せる状は藻琴山、美幌峠よりの大觀に一層の興味を覚えしめる。湖邊東岸には各地に温泉湧出し砂湯、池の湯等の野天風呂がある。砂湯は夏期の湖水浴、野營に知られて居る。

湖北岸の逍遙道路は廻遊に適し、蓬萊山、碁石濱などの各處に興味ある箇所があり、蓬萊山下のペナワンタツコブの造林小屋は藻琴山スキ

一の休憩避難小屋として大いに役立つて居る。

湯沼 硫黄山の西南方六軒、湯沼の附近には泥火山一ヶ所、噴氣孔四ヶ所あり、硫黄山より仁伏温泉附近に終るアトサヌプリ林道は沿道にイツツ、ゾ、白樺林美しく、又ヤマナラシ、オニグルミ等の造林地などあり快い探勝コースをなして居る。

川湯温泉 硫黄山の北麓、川湯驛との間バスを通ずる。セセクベツ河床到る處より熱泉湧出し、温泉街をなしてゐる。帽子山の異名あるサワンチサツプ、白烟立罩むる硫黄山の奇峯はアカエゾマツ純林に抽で、異彩を放つて居る。川湯を中心として硫黄山、藻琴山等は登山、スキーに適し湖畔一帯は春秋の行樂に知られて居る。

仁伏温泉 川湯の西方二軒、湖上舟遊汽船の

發着所で旅館が一軒ある。背後のボンボン山は特異な火山現象を呈する。

和琴温泉 屈斜路湖の南岸に突出し、鬱蒼たる樹林は水面に迫つて居る、半島北端の湖中には無数の硫黄孔があつて、盛に噴氣し、熱泉が湧出して居る。半島の頸部に原始氣分横溢の和琴温泉がある。

硫黄山 川湯驛西方一軒の地に聳えマクワンチサツプと双子山を成す、屈斜路陥没地形の中央火丘群に當り、幾多の硫黄孔は硫黄塔を形成し、白煙を噴騰し、甚だ偉觀を呈する。山麓一帯は方數軒に亘り坦々たる火山礫平原をなしエゾイツツ、ジ、ハヒマツ、ガンコウラン等の群落中所々に白樺點在し、林縁にアカエゾマツの浸入を見る。花季六七月の候、お花畑の美觀は例へ難い。アトサヌプリ硫黄精練所はその

東麓にある。

藻琴山 湖水の北方釧路、北見の國境に聳える。山頂附近は黃花石南花其他珍奇なる高山植物に見るべきものが多い。湖岸ドンドン川及シキシャナイ川口より登山路があり、網走小清水側よりも登る人が激増した。

美幌峠 北見美幌町より屈斜路湖に入る峠、その頂に擴がる笹生地は好展望地として知らる。屈斜路湖の大觀を慾にすることが出来る。

尾札部越 阿寒團地と屈斜路團地との捷徑。

尾札部とは乾涸の川尻の意で下流は伏流をなすが源流附近には壯麗な雄瀧雌瀧が懸つて居る。

摩周湖 弟子屈驛の東方六軒、湖畔展望臺まで自動車を通ずる。顯著なる陥没火口原湖で、長徑六軒、周圍二十軒、水深二二米。紺碧の水

色にカムイヌブリの魁偉なる山容を寫し、千古の神秘を湛へたる湖心に小島カムイツシュを浮べて居る。昔は魚介が生棲しなかつたが、近時養魚も行はれて居る。環壁約三二軒は一日にて周遊する事が出来る。

カムイヌブリ 摩周湖の東壁に聳立し火口壁は急傾、殊に西壁に到つては殆んど直立し、絶壁には高山植物附着し、壁内には樹林が繁茂して居る。展望臺の四阿を距ること八軒、半日にて容易に登山し得る。

西別岳 カムイヌブリ南方二里の地點で摩周湖展望臺より登山容易、南麓に名高い鱒の孵化場がある。この一帯は冬期スキー場としては好條件を具備して居る。

ベケレ山 弟子屈温泉の西方約八軒、志計禮邊山と相對し、弟子屈より阿寒への國立公園入

口を扼して居る、全山火山跡の笹生地の眺望可。スキートに適する。

弟子屈温泉 釧路、當別兩川の合流點に位し、釧網線全通以來頗に繁榮を來し、現在戸數五〇〇、人口三〇〇〇を有する。何れも内湯を有する旅館、料亭、賣店軒を並べ國立公園區域外であるが阿寒、屈斜路、川湯、摩周等各地への幹線道路は何れも此地に集り、従つて探勝者の宿泊地となり最も重要な公園入口の一つとなつて居る。

二、能取半島

北見國網走郡網走町、能取半島並に網走町近郊の天都山、三眺山、網走湖及能取湖を含む地域、見込面積七七〇〇陌。

能取半島及網走湖畔の呼人半島附近は國有林

三眺山及其附近は司法省網走刑務所用地、天都山は國有未開地、民有地である。



能取半島は丘陵地であるが、小澤の浸蝕著しく地形は極めて複雑で、全山鬱蒼たる針葉樹林に覆はれ、オホツク海岸沿岸唯一の美林をなし、網走町近郊に一天然景勝地區をなして居る。

尾根筋を通る國有林の歩道からは、能取湖、

オホツク海、網走町方面の阜丘等林間に隠見し、
 洶に興趣なるものがあり、海岸、湖岸兩方面
 には、漁村點在し、到る處愛す可き風景があ
 る。特にノトロの聚落はアツケシサウヤハマナ
 スの咲く砂丘のうちにあり、曾ては常呂との交
 通の衝をなしたもので、現在數軒の漁家があり
 宿泊も出来る。ノトロから能取岬の燈臺へかけ
 ては海岸が發達し、豪快なる風景が續く。

天都山 三眺山は共に網走の南方近郊にあり
 て、網走川を狭で對峙して居る。天都山の山頂
 に立ちて四顧すれば、能取湖を隔て、常呂の原
 野、廣漠たる斜里、藻琴の大平野、遠く重疊せ
 る山嶺の後に雄阿寒の秀峰が聳へ、オホツク海
 に突出せる知床半島の山々は煙波に霞んで居
 る。近く眼下に鏡の如き網走湖や網走川を望
 み、其の眺望廣濶雄大を極める。三眺山は天都

山の西に方り網走湖に臨んで居る丘陵地で、鬱
 蒼たる森林に覆はれて居る。山頂より網走湖、
 能取湖、オホツク海、三つの大觀を一時の中に
 收め得るので此の名がある。周圍四三軒の網走
 湖眼下に開け、湖面を隔て、女滿別、木禽の原
 野遠く展がり、水陸の風光洶に明媚である。
 網走川、網走湖、能取湖は共に舟遊、釣魚の
 樂みを與へる。

能取半島の探勝はバイラギ澤迄は國有林の林
 道が完成して市中から約十軒は自動車で行くこ
 とが出来。此の外歩道は林内外縦横に通じ遊
 覽に便利である。天都山、三眺山は共に網走市
 街より約四軒、天都山は山頂迄自動車を通じ、
 三眺山は麓迄自動車で行くことが出来る。何れ
 も山頂には四阿がある。

三、チミケツプ湖

北見國網走郡津別村大字チミケツプ木禽村字チミケ
 ツプ、チミケツプ湖を中心とし是を圍繞する
 森林、喜登井公有林等を包含する面積約三〇
 〇〇陌とす。

四季綠樹鬱蒼たる山間に介在する火山湖で、
 周圍約一二軒、往時附近は鹿群の棲息地として
 傳へられて居て、今でもよく落し角を見かけ
 る。

湖岸にはシヤクナゲ、ヤマザクラ等が多く花
 期六月、七月の美觀は特記するに値する。水草
 としてはカハホネ、ヨシ、カハラトクサ等が繁
 茂して居る。
 沼の深さは一四五米に及ぶと云はれ、天然に

姫鱒、アメ鱒、イトウ、ウゴイ等を産し、中
 も姫鱒が多い。



湖畔は四時靜寂、散策、キャンプ、釣魚に快
 適である。鹿鳴の瀧は、飛沫霧の如く、苔蒸す

滑かな盤岩は天然の階段をなし景趣に富む。最近湖畔に孵化場を設けて魚類の養殖をやつて居る。

チミケツブ湖に至るには野付牛驛、上常呂驛、津別驛より各一六軒乃至二〇軒、六月中旬より十月初旬迄は夫々自動車を通じ得る。又本岐驛、漆別驛より歩道があつて一日の行遊に好適である。

現在湖畔には何等宿泊施設がないが、湖尻附近に造林小屋がある。

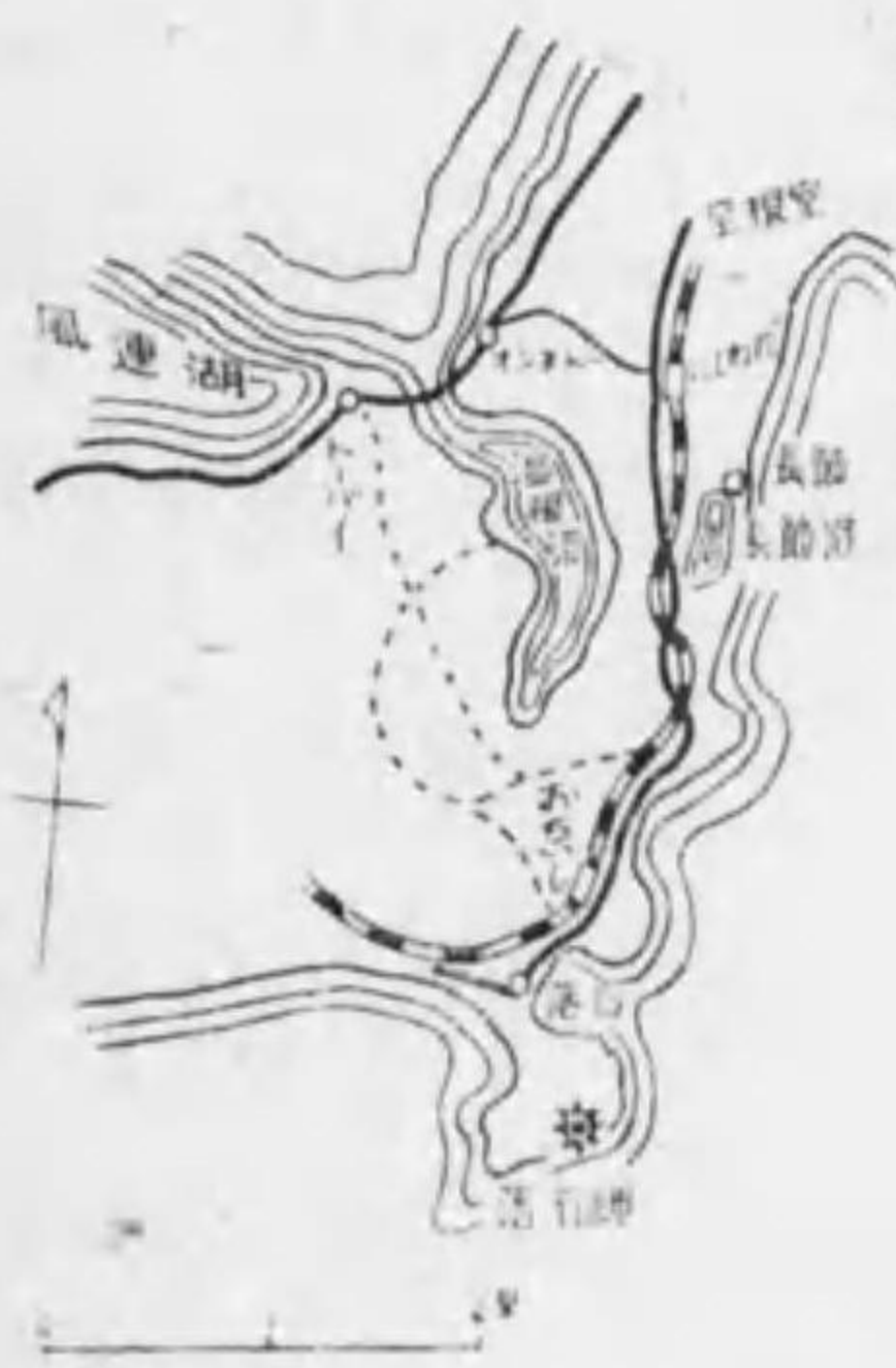
宿泊の設備は野付牛町に旅館五軒あり、一般の探勝者は年四、五〇〇名と見られてゐる。

四、長節沼及温根沼

根室の國根室郡和田村に在り長節沼、温根沼を含む地域にして見込面積三、三〇〇陌、大部分國有林にして僅少の民有地がある。

本地域は花咲半島の頸部に當る沼澤地で、兩

長節沼及温根沼



者の間を根室本線が通過して居る。

長節沼は稍高位に在り、四圍は針葉樹の立派な森林で、閑靜たる小湖をなす。沼畔には櫻樹の植栽、四阿其他施設せられ、根室方面より來遊する者が多い。湖水には鮒が多く釣魚、舟遊に適する。周圍五軒、歩道により一周することが出来る。

温根沼は周圍一五、五五軒、最深三、八米の潟湖であり、海岸に接してアカエゾマツの美事な森林帯が分布し、荒涼たる特有な景觀を呈す湖畔東梅の大雄寺からの眺望はこの一帶の廣い景觀を遺憾なく觀察することが出来る。沼は潮の干満の差大で干潮時には全湖干潟となり、アサリ、ホツキ、其他貝類多く棲息するので湖干狩に適する。

兩湖とも根室本線西和田驛下車、徒歩約二軒

乃至六軒であり。又根室町から自動車も通ずる。兩者とも附近に旅館はないが、長節沼の觀音堂本坊、温根沼の東梅大雄寺には宿泊も可能である。

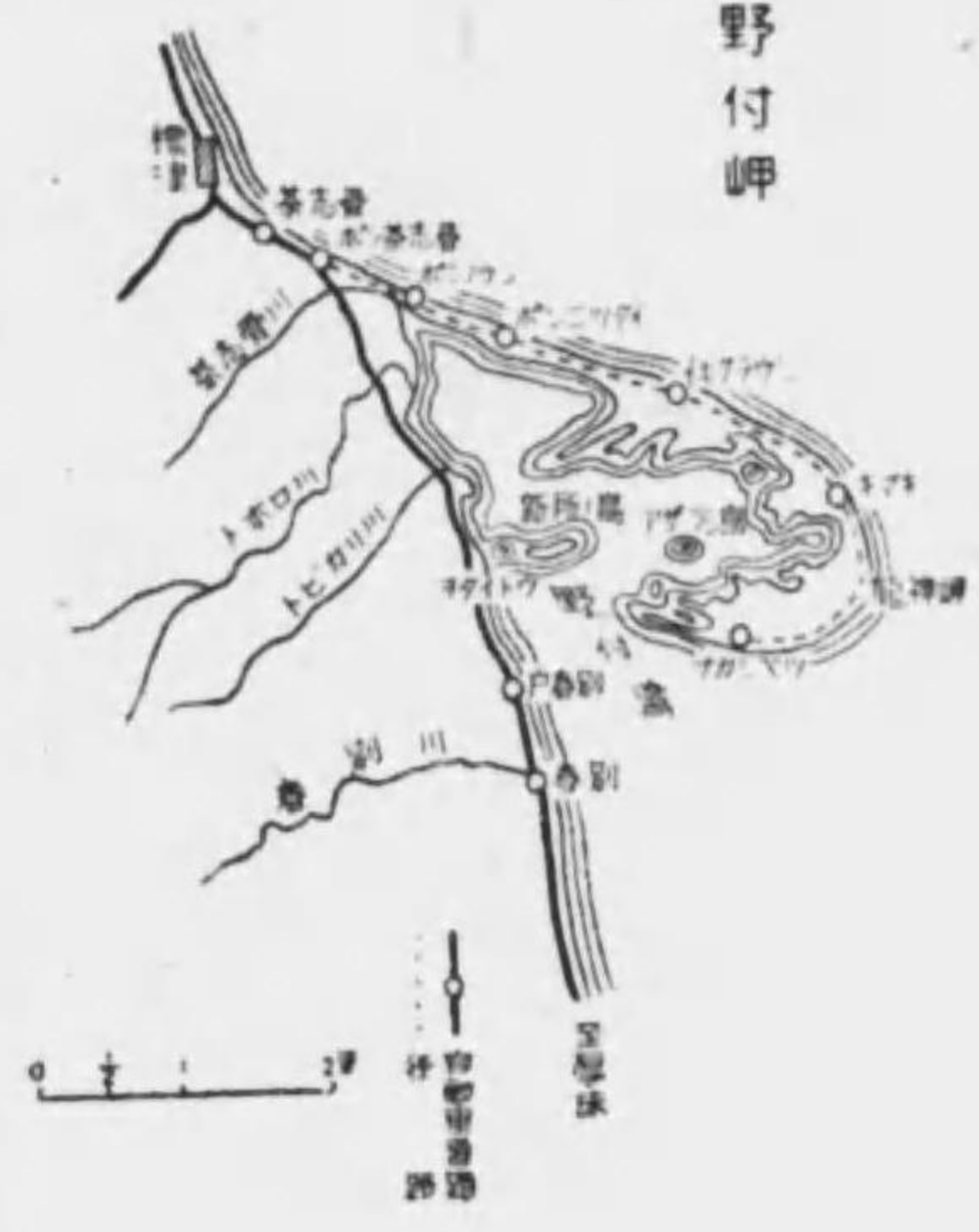
五、野付岬

根室國野付郡別海村、標津郡標津村、野付岬を中心とする地域、半島部は國有林及國有未開地、道路沿は多く民有地である。

野付はアイヌ語「ノツケウ」の義で岬端頭狀を呈するのでこの名がある如く、標式的砂嘴にして、岬は延長二八軒、突端は龍神岬と呼ばれ、岬にはアカエゾマツ矮生し、特異なる景觀を呈し、また灣内には數個の小島を基布してゐ

る。

野付岬



灣内の漁場尾岱沼部落はまた野付岬の好展望所であつて、岬の先には遙に南千島の山々を望み、知床半島を構成する諸山岳も指呼の裡に揚げられ海、陸の眺望は甚だ雄大、特異性に富む。

灣内にはエビ、ホツキ、帆立、アサリ、鱒、

鮭が棲息し、三角帆を張れる漁船の點在亦異彩ある風致を添へる。十一月上旬より三月上旬に亘り雁、白鳥の群集に満さるゝ光景と海豹の群泳する壯觀は特記に値する一景觀である。尾岱沼は根室本線厚床より標津行のバスの通路に當り、尙標津原野を経て弟子屈温泉方面に連絡する。岬には茶志骨より歩道が通ずる。灣内の遊覽は春別、尾岱沼で漁舟を雇ふより他ない。

昭和十七年十二月十五日印刷
昭和十七年十二月二十日發行

編輯兼 發行者 五嶋 甚之助
札幌市圓山南町一四〇三番地
札幌市大通西五丁目一番地

印刷人 中西 吉之助
札幌市大通西五丁目一番地

印刷所 中西寫真製版印刷所
〔北札75〕

發行所 北海道拓殖部内
北海道景勝地協會

(東部)
昭和十七年十月三日北部軍司令部北軍參機第八〇三號檢閱済
昭和十七年十月六日大湊警備府檢第一六三九號檢閱済

429
261

終

